

# 大規模災害訓練について

大規模災害プロジェクトチーム

## はじめに

今年度、本校の防災力向上を目的に『大規模災害プロジェクトチーム』を立ち上げました。

メンバーは、教頭、首席、リーダー長、各学部代表、関係分掌の代表で、2～3か月に1回程度集まり、会議を重ねました。

年度当初の会議で、まずは教職員の防災への関心を高めることを目標に活動内容を検討しました。大規模災害はいつ起こるか分からず、対策は日ごろから積み重ねる必要がありますが、日々の膨大な業務の中ではつい優先度が下がってしまい、また、誰しも正常性バイアスが働き「自分の学校は大丈夫だろう。」という思考に陥ってしまいます。

そこで、まずは学校周辺の災害リスクを知り、シミュレーションをして本校の課題点を見つけ出すことを今年度のチーム内の目標としました。

## 内容

2025年8月、夏季休業中に浪速区役所と連携し、教職員対象の大規模災害訓練を実施しました。児童生徒役と教職員役に分かれて、約5分間続く震度7程度の揺れにいかに対応するかを今回の目標とし、教職員が所属する分掌ごとに対応チームを作り、初期対応と1次対応を行いました。本校は、2階までの浸水想定がされているため、3階への避難が必須となります。負傷した児童生徒、教職員を想定し、その状況下でいかにして安全にかつ情報を共有しながら避難を進めていくかを訓練を通じて学ぶことができました。デジタル化が進む現代の中で、大規模災害時は情報通信機器が使用できなくなることが想定されます。いかにして教職員間で正しく情報を共有するか、その手段を今後考えていくことが課題となりました。

2025年12月には、認定NPO法人ゆめ風基金より2名の講師をお招きし、教職員向けの防災研修を実施しました。東日本大震災の体験談を通じて、支援学校として取り組むべきことをご講演いただきました。日ごろからの防災への備えは必須ですが、特別なことをしようとするのではなく、普段から使っているモノやサービスを災害時にも役立て無理なく自然に防災につなげる『フェーズフリー』の考え方を取り入れていく必要があることを、講演を通じて学ぶことができました。

## まとめ

来年度は、今年度の取り組みを踏まえて訓練等を継続しつつ、他校の取り組みを知る機会等も設け、防災に関する知識を常にアップデートしていくという姿勢で、児童生徒、そして教職員の防災意識を高めていきたいと思ひます。